

お客様がDell PowerStoreを選択する主な理由

PowerStore
は使いやすさ第1位¹



PowerStoreは、Net Promoter SystemSMを考案したBain & CompanyによるNPS®スコア認定を受けた唯一のストレージシステムです。² [ホワイトペーパーを読む](#)

オールフラッシュストレージのスマートな選択

PowerStoreは、AIが加速する世界で競争力を維持するために必要なすべてを提供します。ストレージテクノロジーの最近の進化と、プログラムによって得られるビジネス上の新たなメリット（投資の最適化と保護）の組み合わせにより、PowerStoreはイノベーションに不可欠なオールフラッシュストレージプラットフォームとなっています。

1 | PowerStore 4.xでイノベーションを実現

これまでで最も包括的なPowerStoreのリリースをご紹介します。このリリースでは、パフォーマンス、効率性、耐久性、マルチクラウド機能が大幅に強化されており、次のような機能を備えています。

<p>業界屈指の柔軟性を誇るQLC²</p>  <p>低コスト、同等の優れたパフォーマンス</p>	<p>データ削減率が最大20%向上³</p>  <p>フットプリントと電力消費を最小化</p>	<p>強化されたネイティブレプリケーション</p>  <p>あらゆるワークロードをデータロスなしで保護</p>	<p>クラウドバックアップと移行</p>  <p>オンプレミス戦略とマルチクラウド戦略をつなぐ</p>	<p>新しい生成AIアシスタント</p>  <p>時間を節約し、問題をより迅速に解決</p>
--	--	---	---	--

2 | 投資の最適化と保護

単に優れたテクノロジーというだけではありません。PowerStoreは、新しく更新された将来を見据えたサービス、保証、コンサンプション オプションなど、財務上および運用上のメリットをもたらす強力なラインアップも提供します。PowerStoreは、ビジネス ニーズとテクノロジー ニーズを満たしながら、長期にわたってコストを削減し、柔軟性を最大限に高めます。

<p>5:1のデータ削減保証</p> <p>事前アセスメントやプログラム料金は不要で、最長5年間の保証期間と透明性の高い修復プロセスが提供されます。</p>	<p>APEXサブスクリプション</p> <p>PowerStoreの柔軟なアズ ア サービス コンサンプション オプションにより、必要な分だけ月額で支払うことができます。</p>	<p>Lifecycle Extension with ProSupport</p> <p>PowerStore向けのDellのプレミア インフラストラクチャ投資保護プログラムは、世界レベルのサポートと柔軟なテクノロジー アップグレードを組み合わせたものです。</p>
---	---	---

これらのオファーは、3年間の満足度保証、オールインワンのソフトウェア、安心のデータ移行、Tech Refresh & Recycleなど、Future-Proof Programが提供する世界レベルのメリットとともに提供されます。

3 | Dellのグローバル パートナー コミュニティーを活用

PowerStore Primeは「パートナー主導型」のサービスで、Dellのグローバル パートナー エコシステムの専門技術およびソリューション機能と併せて提供されます。Dellのパートナーは、業種や地域に特化した専門知識からカスタム統合まで、ビジネスとテクノロジーにおける非常に強力な利点となっています。PowerStoreを直接購入する場合でも、パートナーを通じて購入する場合でも、お客様固有の課題と目標を理解するエキスパート サポートのネットワークでバックアップされた最先端のソリューションを利用できます。

4 | 次世代アプリケーションを強化

PowerStoreは柔軟で使いやすいパッケージで提供され、ハイパフォーマンスストレージの基準を設定します。エンドツーエンドのNVMe、アクティブ/アクティブ ノード、[インテリジェントなパフォーマンスチューニング](#)により、クラスターあたり23ペタバイトの実効容量(PBe)までスケールアップおよびスケールアウトしても、ワークロードを高速で実行し続けることができます。⁴ 4.0リリースではIOPSが最大30%向上するため⁵、AIが加速する世界でさらなるスピードを得られます。

5 | エネルギー使用量とコストを削減

ビジネスの成長に合わせて、PowerStoreは一貫してコストを削減します。変化に適応する自己最適化ソフトウェアから、コンパクトな統合アーキテクチャ、新しいQLCオプション、[スマートなデータ削減](#)、複数のENERGY STAR認定まで、PowerStoreは、IT予算を最大限に活用するためのフットプリント、管理、電力効率を提供します。TBe/ワットが最大28%増加⁶

6 | あらゆるワークロードを保護

99.9999%の可用性を実現するように設計されたPowerStoreは、Dynamic Resiliency Engine、安全で不変のスナップショット、Witnessによるネイティブ同期/非同期および[Metro同期レプリケーション](#)（自動フェールオーバー/フェールバック用）、Dell PowerProtect Ddへの統合バックアップ/リストアなど、「データロス」[損失ゼロ](#)の[データ整合性](#)を確保するためのさまざまな方法を包括的に提供します。

7 | ワークフローの合理化と自動化

PowerStoreは、お客様が選択した管理およびオーケストレーションプラットフォーム内から高度なPowerStoreサービスの迅速なプロビジョニングを可能にすることで、DevOpsを加速します。VMware vRO、Kubernetes、Ansible、Terraform向けのネイティブ統合とプラグインにより、数日ではなく数秒という迅速なリソースの導入が可能で、手動のプロビジョニング プロセスは不要です。

8 | リスクと脅威を最小化

PowerStoreには、HWRoT/セキュア ブート、MFA、D@RE、FLR、ランサムウェア対策、セキュア スナップショットなど、ゼロトラスト サイバーセキュリティモデルに必要なものがすべて揃っています。PowerStoreは米国国防総省の厳格な要件を満たしています。

9 | オンプレミスとクラウドの戦略をつなぐ

PowerStoreのネイティブ バックアップ/リストアとAPEX Protection Storageの統合、APEX Block Storage for Public Cloudへの双方向データ移行、柔軟なAPEX Data Storage Servicesオプションにより、マルチクラウドの未来を今すぐ実現できます。

10 | 常にモダナイズされた状態を維持

PowerStoreの絶え間ないイノベーションからメリットを得られます。オールインワン ソフトウェア、[データインプレースハードウェアアップグレード](#)、新しいLifecycle Extension with ProSupportにより、ワークロードを常に最新のテクノロジーで実行できます。

PowerStoreなら、あらゆるニーズに対応できます。

独立した業界エキスパートの見解をご覧ください。

ESG : [PowerStore Prime First Look](#)

IDC : [The Business Value of Dell PowerStore](#)

¹ミッドレンジストレージプロバイダーを比較したDellの分析（2023年10月）に基づきます。Dellテクノロジーは、2023年10月から2024年10月までの期間について、Bain & CompanyによるNPSxSMで2つ星の評価を受けています。注：CX認定は、Bain & Company, Inc. (「Bain」) の独自評価です。BainがDellの製品やサービスを保証、支持しているわけではありません。

²プライマリー ストレージQLCアレイに関するDellの分析（2024年5月）に基づきます。

³データ削減について、PowerStoreOS 3.5とPowerStoreOS 4.0（可変ブロック圧縮を使用）を比較した社内分析に基づきます。実際の結果は異なる場合があります。

⁴有効容量は、平均で5:1のデータ削減を想定しています。実際の結果は異なります。ご使用の環境の容量データについては、Power Sizerを参照してください。最大容量は、購入時点で利用可能なドライブ サイズによって異なります。アプライアンスあたりでサポートされる最大論理容量は、8エクサバイト(EB)です。

⁵PowerStore 5200のピークIOPSをPowerStore OS 3.6とPowerStoreOS 4.0で比較した社内分析に基づきます。読み取り/書き込み構成比率70/30、ブロック長128KをFC経由で実行しました。実際の結果は異なる場合があります。

⁶PowerStoreの最大実効容量を、データ削減4:1と平均5:1で比較した場合に基づきます。実際の結果は異なります。ご使用の環境の容量データについては、Power Sizerを参照してください。

©Dell Inc. またはその関連会社。All rights reserved.（不許複製・禁無断転載）。Dell、ならびにこれらに関連する商標およびDellが提供する製品およびサービスにかかる商標はDell Inc.またはその関連会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。